

通し番号	記入不要
------	------

分類番号	25-7B-21-17
------	-------------

(成果情報名) 地域銘柄鶏の作出を目指した国産鶏の組合せ検定 (平成24年え付け鶏の成績)	
[要約] 卵肉兼用国産鶏岡崎おうはん(以下XS×YC)を対照とし、横斑プリマスロック88系統×岡崎おうはん(以下88×XSYC)、横斑プリマスロック88系統×ロードアイランドレッドYC系統(以下88×YC)の2種類の組合せについて産肉性、産卵性を調査した。両鶏種を対照鶏と比較すると、産肉性は優れているが、産卵性は劣る。	
(実施機関・部名) 農業技術センター畜産技術所	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

独立行政法人家畜改良センターと連携し、国産鶏交雑種的能力検定を実施して、生産性の優れた地域銘柄鶏を作出する。

[成果の内容・特徴]

- 1 卵肉兼用国産系 XS×YC を対照とし、88×XSYC、88×YC の2種類の組合せについて産肉性、産卵性を調査した。飼養方法及び給与飼料は表1のとおり。
- 2 産肉性(表2)  
88×XSYC、88×YC は飼料摂取量が多く、体重、と体重、正肉重が重い(p<0.05)。ムネ肉の剪断力価、クッキングロスには差は見られない。
- 3 育成成績(表2)  
88×XSYC、88×YC は飼料総摂取量が多く、18週齢時体重が重い(p<0.05)。
- 4 産卵性(表2)  
88×XSYC、88×YC ともに対照区の XS×YC と比較すると産卵率が低く、日産卵量が少なく、飼料摂取量が多く、飼料要求率が高い(p<0.05)。  
また、64週齢時の体重は88×XSYC、88×YC が XS×YC より重い(p<0.05)。
- 5 卵質(表2)  
卵黄重は、88×XSYC、88×YC、XS×YC の順に重く、卵黄重比は88×XSYC の29.2%と XS×YC の27.9%の間に有意な差が認められる(p<0.05)。  
ハウユニット、卵殻強度、卵黄色、肉斑出現率には有意な差は認められない。

[成果の活用面・留意点]

卵肉兼用の国産鶏について産卵性と産肉性の両面を求めるのは難しいと思われる。今後は、産肉性を主体とした地域銘柄鶏の作出に向けて、組合せ検定を実施する。

[具体的データ]

表1 飼養方法及び給与飼料

週齢	飼養方法	供試羽数	給与飼料			
0～3	立体育雛器	61羽×2反復	0週齢	餌付け用	CP22%	ME3000Kcal/kg
4～17	開放育成舎群飼ケージ (1ケージ10羽)	20羽×4反復	1～3週齢	育成前期用	CP21%	ME2900Kcal/kg
			4～9週齢	育成中期用	CP18%	ME2850Kcal/kg
18～64	開放成鶏舎3段ケージ (1羽飼い)	12羽×4反復	10～17週齢	育成後期用	CP14%	ME2800Kcal/kg
			18～64週齢	成鶏用	CP17%	ME2860Kcal/kg

表2 産肉・産卵成績

項目	88×XSYC	88×YC	XS×YC
・産肉性 0～100週齢：♂			
飼料総摂取量 (g/羽)	9,421 a	9,305 a	7,337 b
飼料費 (円)	484 a	481 a	377 b
100週齢体重 (g)	2,718 a	2,861 a	2,209 b
・と体検査 104日齢：♂			
体重 (g)	2,941 a	2,839 a	2,186 b
と体重 (g)	2,620 a	2,475 a	1,980 b
と体重歩留まり (%)	89.0	87.4	90.6
正肉重 (g)	1,122 a	1,122 a	880 b
正肉歩留まり (%)	38.1	39.5	40.2
肉質検査：ムネ肉			
剪断力価 (kgf/cm <sup>2</sup> )	3.2	4.3	4.4
クッキングロス (%)	18.1	16.1	19.4
育成成績 0～19週齢♀			
育成率 (%)	97.9	100.0	97.5
飼料総摂取量 (g/羽)	11,428 a	11,598 a	8,958 b
18週齢体重 (g)	2,275 a	2,265 a	1,719 b
産卵性 20～64週齢			
産卵率 (%)	71.4 a	75.6 a	88.1 b
平均卵重 (g)	63.0 a	62.9 a	60.1 b
日産卵量 (g)	45.3 a	47.8 a	53.4 b
飼料摂取量 (g/日)	159.1 a	163.2 a	129.6 b
飼料要求率	3.61 a	3.48 a	2.45 b
生存率 (%)	95.9	97.9	91.7
64週齢体重 (g)	3,687 a	3,657 a	2,560 b
卵質 36・64週齢の平均			
ハウユニット	84.1	84.8	84.7
卵殻強度 (kg)	3.68	3.53	3.98
卵黄色	13.2	13.3	13.3
卵黄重 (g)	19.1 a	18.2 b	17.0 c
卵黄重比 (%)	29.2 a	28.6 ab	27.9 b
肉斑出現率 (%)	12.5	20.0	32.5

※同一項目内において異符号間に有意差あり (P<0.05)

[資料名] 平成 24, 25 年度試験研究成績書

[研究課題名] 地域銘柄鶏の作出を目指した鶏卵・鶏肉の高付加価値技術の開発

[研究期間] 平成 24～25 年度

[研究者担当名] 平原敏史、平井久美子